

ESPOIR^{VOL 4} 06

THE PRESON

100年後、
1000年後でも見返せる
「この時代の標本」を作りたい

M works-



浅沼
智之

[100年後、1000年後でも見返せる「この時代の標本」
を作りたい - M works- PV - YouTube](#)



[100年後、1000年後でも見返せる「この時代の標本」 を作りたい - M works- PV - YouTube](#)

70年続く 盛岡の地で先祖代々引き継がれる土地家屋調査士の
浅沼さんが 盛岡で開催された

「語り継がれる未来を残す」

というテーマで講演会を開催しました。

震災で多くの建築物や思いでが一瞬で亡くなる

そういう経験をした 浅沼さんが、今の事業から

貢献できることはないか??それを考えた時に

「メタバース 空間 宇宙を掛け合わせた造語」が仮想空間上で

今の街並みや依頼者の建築物を未来に残す方法はないか?

その答えがメタバース化できる素材を空間上にUPLして今、仕事と
している土地家屋調査士としての役割から貢献をする。その一つ
は 3D 建築物の制作と効率化という、本来 CADや測量士や設
計士が1件 1か月もかかっていた作業を2日～ 1週間で簡略化し
データはメタバース化されたサーバー上で保管されるというシン
プルだが必要な地域貢献事業と将来、それを自分の仮想世界で
そのままの状態で作成される仕組みなど、個人から大手不動産か
ら引き合いがあり、その中でエスポアともご縁を頂き、講演会に
参加させて頂きました。



珍しい建築物や、文化遺産等の建築物から神社、仏閣、そしてマンションから個人宅まで、ニーズは多用している中で、まだまだ、この分野でのトップ企業はないという事ももちろん、技術者も育てないといけないが、今まで業界に貢献する人材を10名以上は輩出し彼らも不動産家屋調査士として活躍するという。

今後は東京の上場企業（社長が同じ盛岡の同級生）からも声がかかり、東京で需要を発掘して盛岡で制作をするという地方創生も一役買いたいという事である。大手企業は技術やシステム開発の受託等、すでに地方でも雇用を生み出す方法などをモデリングした、盛岡に恩返しをしながら、ご自身の周りの人に笑顔ある未来を提供する企業へと成長していくことでしょう。

令和4年6月25日



ESPOIR VALUE